

学校名

狭山市立 狭山台中 学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します。 ・ 承認しません。



本校のいじめ防止に関する実践

狭山台中では、「さやまっ子の誓い」を受け、

1. 個人のいじめゼロ行動宣言
2. ハイタッチ運動
3. 台中生交流会
4. 一日一善運動
5. ハロープロジェクト



などに取り組んでいます。特に、今年度は、2のハイタッチ運動、3の台中生交流会、4の一日一善運動に力を入れました。以下にこれらの運動の内容についてを説明します。

〈ハイタッチ運動〉

いじめをなくしていくには、たくさんの人たちとコミュニケーションをとることが大切だと考え、そのためにはあいさつをすることが最善だと考えました。そこで、台中の生徒会ではあいさつ運動を実施しているのですが、ここでは、あいさつをすると同時に、ハイタッチもしています。ハイタッチもすることによって、親近感が沸き、学校全体が明るくなるのではないかと考えました。現在は、新型コロナウイルス感染予防の点から、直接ハイタッチはせず、台紙ごしにハイタッチをしています。また、この運動は台中生だけでなく、近くの狭山台小学校の児童にも向けて実施しています。朝から元気良くハイタッチをしてくれる小学生の姿が多く見られます。そして、台中生、小学生ともに以前よりも笑顔が増えたように感じます。笑顔が増え、学校全体が良き雰囲気になることで、いじめゼロにつながります。これからもこのハイタッチ運動で台中の雰囲気を明るくし、いじめゼロへとつながりたいです。



〈台中生交流会〉



台中では、あいさつの活性化を目的とした取り組みとして、ハイタッチ運動の他に、台中生交流会を実施しました。この交流会は、学年内ではしっかりあいさつができていないか、他学年の人とはつながりがうすく、あまりあいさつができていない、という意見のもとに実施しました。この会では、体育祭の団ごとに分かれてレクをし、他学年との交流を深めました。違う学年にも知り合いができたことで、学年を超えてのあいさつをしやすい環境になったと思います。

これからさらに台中生交流会の回数を重ね、他学年との友情をもっと深めたいと考えています。

〈一日一善運動〉

この運動では、自分のした良いことや、相手にしてもらってうれしかったことを目に見えるようにしました。花の形をしたカードに内容を書き、それを廊下に掲示してある大きな木に見立てた台紙にどんどん貼っています。木の名称は「ニコニコニーの木」です。以下が、カードに書かれた内容の一部です。



① プリントを配るのを手伝ってくれた!! → ありがとう!

② パワーポイントのやり方を教えてくれた!! → すごい!

③ 消しゴムを貸した!! → ちょっといい気分...

日々のほんの小さなことかもしれませんが、今では花の数も多くなり、木が満開になっています。廊下で立ち止まり、どんなことが書かれているのか、眺めてくれる人も見られます。この運動をしたことにより、普段当たり前だと思っていたことのありがたさを再認識することができました。「〇〇をしてもらって当たり前」ではなく、様々なことに感謝の気持ちを持続かけになったのではないかと思います。何事にも感謝の気持ちを忘れず、他人を思いやる心を育み、いじめ防止につなげていきたいです。

〈今後に向けて〉

ここまで、台中で今年度特に力を入れてきた、3つの取り組みの内容を紹介してきました。今日まで、狭山市では「さやまっ子の誓い」を立て、それをもとに各小中学校でいじめゼロのための取り組みを行ってきたため、新聞に載るような大きないじめは報告されていません。世の中には、ジェンダーや環境、障がいなどの様々な地球的課題があります。それらの課題は、私たちにとても身近なものです。私たちにも、それらの課題を解決するために何かできることがあるはずで、そこで、みなさんは、SDGsについて知っていますか。SDGsは日本語にすると、「持続可能な開発目標」。前述した地球的課題を解決するために、世界各国で取り組んでいる目標のことです。台中の生徒会では、来年度、このSDGsを意識した活動に取り組んでいこうと計画しています。ジェンダーや環境、障がいなど、様々な問題について考え、少しでも解決のためのアクションをおこせたら、よりよい生活へとつながっていくと思います。私たち自身はもとより、いろいろな人の幸せのために、SDGsの取り組みに協力し、社会に様々な形で貢献していきたいと思っています。次の世代を担っていくのは、私たちのような学生一人一人です。今ある様々な問題に目を向け、今よりもさらに住みよい社会にするために、他の学校とも連携して取り組んでいきたいと考えています。